

新城市民病院での地域実習を終えて

豊橋市民病院 研修医 2 年目

まず初めに 4 週間ご指導していただいた先生方、コメディカルの方々、事務の方々、ありがとうございました。慣れないことや知識不足など大変ご迷惑をおかけしたこともありましたが無事に 4 週間終えることができ感謝しております。

今回の実習を通して特に感じたことは今までの自分の診療は患者ではなくデータや画像中心の診療となっていたことでした。普段の研修病院では救急外来での診察が多く外来患者や救急車など多数の患者が訪れるため時間との闘いになってしまい、患者本人を見るのではなく検査結果からの判断が多かったように思います。しかし、新城市民病院の先生方は問診や身体所見など患者本人主体の診療をされていました。また、検査を出すにしてもやみくもに出すのではなく鑑別診断を挙げた上で本当に必要なのか、金銭的な問題や患者に対する侵襲など数多くの面から考えた上での物でした。研修 2 年目に入ったところで自分の中で少し慣れてきたと感じてしまったことから生じてしまったことかもしれません。これから後期研修に入っていく際に初心にかえる良いきっかけになりました。

また、今回の研修ではつくで診療所や助産所、介護老人施設など普段では見る機会が少ない地域医療に接することができました。決して十分とは言えない人員の中で地域医療に貢献されている方々を見て大変感動しました。普段の病院では各科の専門医の先生方がバックにいる状態での診察をしていましたが地域医療では常に専門医がいるわけではなく対応できる疾患も限りがあることを実感しました。今までは他院から患者が紹介受診、転院搬送されてくる立場でしたが患者を送る側にたったことは非常に貴重な体験になりました。

今回の研修では「地域」を感じることもできましたが **up to date** や勉強会などであいまいな知識ではなく **EBM** にそった医療をされている先生方の姿を見て今までの自分の医療がいかに曖昧だったかを実感しました。

最後に、今回の新城市民病院での研修で学んだことを無駄にせず今後の医療に生かして数多くの患者様の健康のために貢献できればと思います。4 週間ありがとうございました。